

● 草の根パートナー型

平成24年度第2回 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 対象国名	ミャンマー
2. 事業名	シャン州における植物インベントリーと有用性の評価並びに資源植物（薬用ランを含む）の利活用支援事業
3. 事業の背景と必要性	<p>アジアにおける植物資源のラストフロンティアと呼ばれるミャンマーにおいて、当財団が進めてきた林産資源の探査とそれら資源植物の栽培普及による住民所得向上の支援事業（チン州において2013年12月まで）を、資源が豊富であると言われていながら開発の危険性が高いシャン州郡部に対象地域を拡大して実施する。</p> <p>これは、チン州で成功した事例をほぼ気候環境類似する地域で行うことで即効性のある事業となること、シャン州に自生する薬用ランの乱獲が著しく保全が求められていること、JICA農業技術協力が計画されており（ケシ栽培撲滅）、連携することで当財団が得意とする基礎研究成果の波及が期待できることに拠る。</p> <p>即ち、ミャンマーの急激な開発による植物資源の消失が危惧されることから、即効性・継続性が期待できる本事業によって、植物多様性保全とその資源の持続利用を進めることがシャン州において緊喫の課題であるといえる。</p>
4. プロジェクト目標	モデルビレッジ村民が、資源植物の持続的利用により、現金収入を得られる。
5. 対象地域	北シャン州チャウメ県、ムセ県
6. 受益者層	林業局職員および対象地域の村人（低所得者～篤農家を含む）
7. 期待されるアウトプット及び活動	<p>&lt;アウトプット&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. シャン州資源植物目録が完成する。</li> <li>2. 森林局職員が保全のための調査技術及び資源植物栽培技術を習得する。</li> <li>3. モデルビレッジの村民が資源植物の栽培技術を習得する。</li> </ol> <p>&lt;活動&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1-1. 専門家と森林局職員の共同植物インベントリーを実施する。</li> <li>1-2. インベントリーによって採集した植物を同定する。</li> <li>1-3. 採集・同定種のデータベースを構築する。</li> <li>1-4. 採集した植物を化学分析する。</li> <li>1-5. 分析結果を評価し、有用性を検討する。</li> <li>1-6. これらの結果を基に目録を作成する。</li> <li>2-1. 森林局職員対象のワークショップ・セミナーを開催する。</li> <li>2-2. 専門家が植物インベントリー技術指導とプロジェクト持続性のための資源植物栽培技術を指導する。</li> <li>2-3. 日本または第3国で薬用ランの栽培技術研修・分類研修を実施する。</li> <li>2-4. 専門家の指導により、薬用ランの遺伝子資源保存園を設置する。</li> <li>2-5. 薬用ラン保存園で、専門家指導により、遺伝子資源保存園の意義と薬用ランの増殖技術を習得する。</li> <li>2-6. 森林局職員による教育者として対象地域でのセミナーを開催する。</li> <li>2-7. 植物目録を配付する。</li> <li>2-8. アンケートによる意識向上・能力の把握をする。</li> <li>2-9. 研修方法やセミナーを評価する。</li> <li>3-1. ベースライン調査を実施する。</li> <li>3-2. モデルビレッジを選定する。</li> <li>3-3. 短・中・長期の栽培収穫生産計画による試験栽培を行う。</li> <li>3-4. 短期栽培生産植物を導入（地域資源）し、栽培指導を行う。</li> <li>3-5. 地域性を検証し栽培技術を普及させる。</li> <li>3-6. 生産体制を確立する。</li> <li>3-7. モデルビレッジ村民へ環境教育を行う。</li> <li>3-8. 簡易パンフレットをモデルビレッジ村民へ配布する。</li> <li>3-9. 意識調査と事前・事後評価を実施する。</li> </ol>
8. 実施期間	2014年1月～2017年12月（3年11ヵ月）
9. 事業費概算額	50,245千円
10. 事業の実施体制	ミャンマー環境保全・林業省と牧野記念財団が協力協定を結び、ピンウーリンに地域事務所を設置し、共同チームを結成して事業を実施する。従って、直接的な人材育成は林業局職員を対象に教育者として育成し、派遣専門家とともに協働で対象地域の住民に普及活動を行い、事業目的を達成する。
<b>II. 応募団体の概要</b>	
1. 団体名	公益財団法人高知県牧野記念財団
2. 活動内容	有用植物研究・開発、植物野外調査、植物分類学研究、牧野富太郎博士の業績を顕彰する事業（高知県立牧野植物園の管理運営）